

平成 28 年 9 月 14 日

能美市議会議長
北野 哲 様

広報特別委員会
委員長 嵐 昭夫

能美市議会広報特別委員会行政視察報告書

平成 28 年 7 月 20 日から 21 日にわたり、千葉県袖ヶ浦市、佐倉市へ行政視察研修のため出張したので、その概要を報告します。

- 1 視察日 平成 28 年 7 月 20 日（水）～21 日（木）
- 2 視察先 千葉県 袖ヶ浦市 （20 日）
千葉県 佐倉市 （21 日）
- 3 内容 議会報告会（ワールドカフェ：意見交換会）について
- 4 参加者 委員長：嵐 昭夫、 副委員長：田中 大佐久
委員：開道 昌信、田中 策次郎、橋本 崇史
近藤 博、仙台 謙三
随 行：議事調査課 長村 学

5 今回の視察の狙い

能美市議会では平成 26 年 3 月に議会基本条例を制定し、「開かれた議会」「信頼される議会」を目指し、議会改革に取り組んでいる。議会活動の透明性を図るとともに、議会への関心度を高めるためには、議会に関する情報を公開する手段や内容を今まで以上に充実させる必要がある。また、市民からの意見を聴取し、市政へ反映させていくことも求められており、議会報告会等（意見交換会）を通じた広聴機能の強化も必要とされている。しかしながら、過去 2 回にわたり議会報告会を開催したものの参加人数が少ない等目的を達していない状況となっていることから平成 28 年度より、こちらから出向いて行う出前講座方式で「婦人団体協議会」「老人クラブ連合会」への総会を活用し報告会を開催。そして、今回初めての試みとして寺井高校 3 年生を対象にワールドカフェ方式で実施することとなっており、今回の視察では、ワールドカフェを行っている自治体と意見交換会を主とする自治体を選定し、その経緯や主な活動内容、現

状課題等を学習し、今後の報告会に活かすことを目的に視察を行った。

☆千葉県袖ヶ浦市議会

①議会報告会（カフェ・ド・ぎかい）を実施した経緯

- ・議会改革特別委員会を設置し、議会改革の取り組みを始める。
- ・自治基本条例の否決（平成 25 年 6 月定例会）
実態を伴わない「条文先行改革」は理解得づらい。
- ・平成 26 年 9 月定例会で「議会改革特別委員会」で、議会の様子が市民に伝わっていないと云う共通の認識を確認。

上記のことから、人々がオープンに話し、自由にネットワークを築くことのできる「カフェ」のような空間のほうが、知識や知恵が生まれることから実施した。

②主な活動内容

平成 27 年 8 月 22 日（土）「カフェ・ド・ぎかい」を開催し、高校生を含む市民 56 名と議員 19 名、総勢 75 名の参加を得た。

③課題

- ・参加者が固定化しないように、参加者の募集・告知のあり方を検討する。
- ・テーマ設定の問題 → テーマが大きすぎた。設定したテーマに関心があるのか？
- ・ファシリテーションの問題 → 聞き役に徹する。
- ・聴取した意見の扱い方の問題 → どう扱い、解決していくのか？

☆千葉県佐倉市議会

①議会報告会（意見交換会）を実施した経緯

- ・平成 22 年 12 月 22 日 佐倉市議会基本条例を可決、12 月 28 日に制定
平成 23 年 4 月 1 日施行、定期的に議会報告会・意見交換会を開催。
- ・平成 23 年 7 月 4 日 佐倉市議会広報公聴委員会を規定。
広報公聴委員会において、「議会報告会」「意見交換会」を企画し、開催。
- ・平成 24 年 8 月 21 日 議会報告会等実施要綱を規定。
上記に基づいて、「議会報告会」「意見交換会」を実施。

②主な活動

- ・平成 23・24 年度に「議会報告会」「意見交換会」を実施、参加者 91 名・52 名であった。
- ・平成 25・26 年度は、「意見交換会」のみを実施。平成 25 年度は、佐倉市商工会会議所役員・観光協会役員 24 名、千葉敬愛短期大学 26 名と参加者を限定し、より内容の深い議論を行った。平成 26 年度は、特養ホーム施設長、地域包括管理者、民生児童委員、26 名で実施。

③課題

- ・女性の参加者、若年層（10歳～30歳）・壮年層（40～50歳）の参加人数が大変少なく、殆んどが、60～70歳代であることから、若年層・壮年層の参加を多くすることに工夫が必要である。また、地区に偏りが見受けられた。20年以上の住民の参加が多かった等、課題が見えてきた。

●所感

袖ヶ浦市議会では、議会報告会を実施するにあたり、聞く側 VS 話す側の方法は、どうしても対決姿勢になるのでは？との思いから、ワールドカフェ方式を採用し大きな成果を挙げていると感じられた。特に議会改革推進特別委員会 委員長 笹生 猛氏の姿勢・熱意を強く感じた。実際に、我々も参加し6人体制で行った実践では、スムーズな運営等そのやり方を学ぶことができ、今後開催される寺井高校では、実りある成果が得られるのではとないかと感じた。

また、佐倉市議会では、平成23・24年度に「議会報告会」を行ったがその実施に対する意見では、議員側からの報告事項に多くの時間が費いやされ、「参加者が意見を殆んど言えない。市民の話聞く機会を多くしてほしい」等の要望があったため、平成25年度より「意見交換会」に移行し主要テーマとサブテーマに基づいて参加者を限定。参加者は、日頃から、テーマに携わっている人であるため、出される意見も現実的で具体性もあり、内容の深い意見交換会となっている。

一般市民の議会への関心度が低い中、袖ヶ浦市・佐倉市議会においては、その実施方法・報告内容について常に検証を行い「開かれた議会」「信頼される議会」に向けて努力されている姿が見取られた。議会報告会のあり方等多くの成果があった有意義な視察であった。



袖ヶ浦市議会議員とワールドカフェ方式を実体験
(袖ヶ浦市議会)



(佐倉市議会)